

研究論文について

(1) 研究論文の審査

本論文集の研究論文は、2段階（第一次審査、第二次審査）で審査を行った結果採用となったものである。審査は、1論文につき査読員2名により、審査スケジュールに則り行われた。なお、論文の条件は以下の通りとした。

住宅・まちづくりに関する、以下の報告区分に該当する研究論文とする。

- 1) 住宅・住宅系まちづくりに関して、新しい課題として有効な知見を得たもので、原則として未発表のもの
- 2) 住宅・住宅系まちづくりに貢献した設計・計画・活動などに関する提案的実践の報告
- 3) 住宅・住宅系まちづくりに関する問題提起的な論説

(2) 審査のスケジュール

◇応募登録

「建築雑誌4月号」誌上及びHPにて「第7回住宅系研究論文報告会」の開催を告知し、研究論文を募集。
2012年5月11日 締め切り。応募総数69題。

◇研究論文投稿

2012年7月5日 投稿締め切り。応募総数47編。

◇一次審査

形式審査による不採用論文はなかった。

2012年7月13日～8月3日 47編について、査読者による審査。

2012年8月7日 一次判定会議開催。採用1編、再提出40編、不採用6編を判定。

◇再提出投稿

2012年9月3日 再提出締め切り。再提出38編。

◇二次審査

2012年9月8日～9月16日 査読者による二次審査。

2012年9月24日 最終判定会議開催。採用33編、不採用5編を判定。一次審査と合わせて最終的な判定結果は、採用34編、不採用11編。

(3) 審査の概要

◇形式審査

投稿論文（47編）について、運営幹事会による形式審査の結果、すべてが一次審査の対象となった。

◇一次審査

投稿論文（47編）の査読者による判定結果は、「採用+採用」1編、「採用+再提出」9編、「再提出+再提出」23編、「採用+不採用」1編、「再提出+不採用」10編、「不採用+不採用」3編であった。

このうち、「採用+不採用」「再提出+不採用」計11編について、運営幹事会において採否の審議を行い、8編を再提出、3編を不採用とした。その結果、採用1編、再提出40編、不採用6編とした。

◇二次審査

再提出論文（38編）の査読者による判定結果は、「採用+採用」30編、「採用+不採用」4編、「不採用+不採用」4編であった。

このうち、「採用+不採用」4編について、運営幹事会において採否の審議を行い、3編を採用、1編を不採用とした。その結果、採用33編、不採用5編とした。

以上より、一次審査と合わせて最終的な判定結果は、採用34編、不採用11編となった。

(4) 報告会の運営

①幹事 (五十音順)

阿部俊彦 (早稲田大)	碓田智子 (大阪教育大)
岡絵理子 (関西大)	神吉紀世子 (京都大)
小池孝子 (日本女子大)	小山雄資 (鹿児島大学)
鈴木雅之 (千葉大)	高井宏之 (名城大)
中田 悟 (東京都市大)	長谷川洋 (国土技術政策総合研究所)
平田隆行 (和歌山大)	藤岡泰寛 (横浜国大)
牧野 唯 (名古屋女子大学)	葉袋奈美子 (日本女子大)
山崎寿一 (神戸大)	吉田友彦 (立命館大)

②査読者 (五十音順)

秋田典子 (千葉大)	阿部俊彦 (前掲)	市古太郎 (首都大学東京)
伊藤史子 (首都大東京)	井上えり子 (京都女子大)	碓田智子 (前掲)
内田奈芳美 (金沢工業大学)	大月敏雄 (東京大)	岡絵理子 (前掲)
門脇耕三 (首都大東京)	神吉紀世子 (前掲)	
木内 望 (国土技術政策総合研究所)		倉知 徹 (関西大)
栗原伸治 (日本大)	栗山尚子 (神戸大)	黒野弘靖 (新潟大)
小池孝子 (前掲)	小杉 学 (東北工業大)	後藤隆太郎 (佐賀大)
小山雄資 (前掲)	近藤民代 (神戸大学)	佐藤栄治 (宇都宮大)
篠崎正彦 (東洋大)	柴田 建 (九州大)	鈴木雅之 (前掲)
瀬田史彦 (大阪市立大)	高井宏之 (前掲)	田口太郎 (新潟工科大学)
竹山清明 (京都橘大)	田中 勝 (山梨大)	谷口尚弘 (北海道工業大)
玉川英則 (首都大学東京)	中島明子 (和洋女子大)	中田 悟 (前掲)
長谷川洋 (前掲)	花里俊廣 (筑波大)	平田隆行 (前掲)
藤岡泰寛 (前掲)	牧野 唯 (前掲)	真境名達哉 (室蘭工大)
松本暢子 (大妻女子大)	葉袋奈美子 (前掲)	米野史健 (建築研究所)
森永良丙 (千葉大)	森本信明 (近畿大)	山崎寿一 (前掲)
山崎さゆり (田園調布学園大)	山崎義人 (兵庫県立大)	吉田友彦 (前掲)

以上